

# 日本ブランドに熱視線

## クリーニングブランドに熱視線

1面参照

今回、現地で来場者対応を担った中園ホールディングスの後藤也昌所長によると、シンガポール国内だけでなく、東南アジア、中東、中国からの

来場者も多く手ごたえを感じた話だった。今が旬の東南アジア市場で求められているものは「ジャパニーズクオリティ」であり、日本人らし

い丁寧で高品質かつ洗練された顧客サービスだと捉えていると続けた。昨今は世界的に韓国ブランドの隆盛がめざましいが、一方で日本ブランドへの期待も高く、特に

日本特有の器用さを活かしたクリーニング技術、理美容のカット技術に、顧客ニーズに対する「おもてなしの文化」が融合したサービスは簡単に真似できない部分であり、

まさにノウハウ。展示会でもそれら高品質を売りにした業種で市場に一石を投じたいとの声は多く聞かれたと話している。実際、展示会終了後に

多数の問い合わせが寄せられたと続けた。それぞれの事業規模により要望は様々だが、我々の理念を理解いただき、各ブランドの規定をクリアできる企業と判断できた際はより具体的なプロジェクトとして契約段階に進め



クリーニングと理美容のフランチャイズビジネスを紹介した中園ホールディングスのブース



ホワイトエクスプレスのブース



Q-cutのブース

## 2度目の環境融資を締結

北海道健誠社

### 循環型社会に貢献と評価



北海道健誠社(本社)と、(株)北洋銀行と「ポジティブインパクトファイナンス」の締結式

北海道旭川市、瀧野雅一社長は、(株)北洋銀行と「ポジティブインパクトファイナンス」(PIF)の契約を締結した。9月30日付けで金額は1億円。2022年10月のサステナビリティ・リンク・ローン(SLL)に続く2件目の環境関連の融資制度となる。

「PIF」は、一昨年のSLLに続く環境関連の融資契約を締結した右が瀧野社長。

環境・社会・経済にもたらす企業活動を金融機関が包括的に評価し、設定した目標・SDGs達成を支援する内容。事業活動の中核となる「リネンサプライ事業」を通じて健康衛生とサーキュラーエコノミーへの貢献について評価を得た。

瀧野社長は、SLLに続く「PIF」とそれに続く北洋銀行からの支援を受け、環境管理が行き届いた手術用リネンの再利用サービスを通じて、病院における

環境・社会・経済にもたらす企業活動を金融機関が包括的に評価し、設定した目標・SDGs達成を支援する内容。事業活動の中核となる「リネンサプライ事業」を通じて健康衛生とサーキュラーエコノミーへの貢献について評価を得た。

環境・社会・経済にもたらす企業活動を金融機関が包括的に評価し、設定した目標・SDGs達成を支援する内容。事業活動の中核となる「リネンサプライ事業」を通じて健康衛生とサーキュラーエコノミーへの貢献について評価を得た。

るものと期待している。東南アジア市場についてはクリーニングと理美容としての展開を進めていく。開催地のシンガポール国内では現在、新しいビジネスをするにあたり、物件や人材確保が悩みの種との話で、クリーニングや理美容における部分的なオートメーション化を期待する声は少なくない。日本のブランドとして契約段階に進め

るものと期待している。東南アジア市場についてはクリーニングと理美容としての展開を進めていく。開催地のシンガポール国内では現在、新しいビジネスをするにあたり、物件や人材確保が悩みの種との話で、クリーニングや理美容における部分的なオートメーション化を期待する声は少なくない。日本のブランドとして契約段階に進め

るものと期待している。東南アジア市場についてはクリーニングと理美容としての展開を進めていく。開催地のシンガポール国内では現在、新しいビジネスをするにあたり、物件や人材確保が悩みの種との話で、クリーニングや理美容における部分的なオートメーション化を期待する声は少なくない。日本のブランドとして契約段階に進め

るものと期待している。東南アジア市場についてはクリーニングと理美容としての展開を進めていく。開催地のシンガポール国内では現在、新しいビジネスをするにあたり、物件や人材確保が悩みの種との話で、クリーニングや理美容における部分的なオートメーション化を期待する声は少なくない。日本のブランドとして契約段階に進め

るものと期待している。東南アジア市場についてはクリーニングと理美容としての展開を進めていく。開催地のシンガポール国内では現在、新しいビジネスをするにあたり、物件や人材確保が悩みの種との話で、クリーニングや理美容における部分的なオートメーション化を期待する声は少なくない。日本のブランドとして契約段階に進め

るものと期待している。東南アジア市場についてはクリーニングと理美容としての展開を進めていく。開催地のシンガポール国内では現在、新しいビジネスをするにあたり、物件や人材確保が悩みの種との話で、クリーニングや理美容における部分的なオートメーション化を期待する声は少なくない。日本のブランドとして契約段階に進め

### 週末1日から2日へ その時、業務が変わる

日本繊維商品めんてなす研究会(TeMA、中村美和子理事長)のマスターメンバーは、11月公開講座の内容を発表した。合わせて、一般の申込受付を開始した。今回は、次代を考えるテーマの特別セミナー「週休1日から週休2日へ」の時、クリーニング業務に何が起こるか。日時は11月15日(金)午後1時30分から。会場の白王ビル(東京・飯田橋)とオンラインから選べる。第1部は、週休2日への取り組みを実施した若手経営者の講演企画。登壇者は、(有)いずみクリーニングの小泉智紀社長、(有)クリーニングのみわの中村諭史社長の両名。実現に至った背景から顧客数の変化、苦労した点などをストレートに聞く機会となる。第2部は、週休2日か

らさらに一歩進んだ取り組みについて先駆者に聞く企画。登壇者は、(有)フルールの佐藤昭仁社長。コロナ禍を機会に打ち出した24時間非対面・無人受付ロボットによる「リッククリーニング」がスタートで定休日問題だけでなく、店舗の在り方、サービス改革を実践中。コロナ明けも厳しい業界事情の中で驚異的な数字を叩き出す手法を聞く。ユーザー事例として口

ボ機導入店の1社、(有)小野ドライ総本店の小野孝社長が生の声を語る。参加費(税込)は一般700円、TeMA会員500円。希望者はメール、FAXで申し込み。問い合わせは、電話03-33811-5821(FAX5822)事務局・遠藤氏まで。

### 関西めんて研11月から3回シリーズ ツーランク上のプロへ

関西繊維商品めんてなす研究会は、スキルアップコースの連続シリーズ企画を11月からスタートする。タイトルは「プロフェッショナルの仕事術」クレーム・事故は、スキルアップのための情報の宝庫!。3回のシリーズで、クレーム・事故の現場を見直して、ワンランク、ツーランク上のプロを目指そうとの企画だ。一向に減らないどころか、同じような内容のトラブルが頻発するクレーム・事故には理由があった。過去の事例から単な

クレーム・事故に学ぶ。第1回は11月8日(金)午後1時30分から、会場のドーンセンターまたはオンラインが選べる。講師参加者を募集中だ。

一般クリーニングの下請け専門工場

24時間仕上 無料で集配します

ドライ・ワイシャツ・シーツ 白衣・糊物全般

株式会社 東ラン (トーラン) 044-555-2689 〒212-0053 川崎市幸区下平間214-1-105 http://www.tolaun.com

全国ネットでサービス万全

株式会社 四ツ星工業 松山市南高井1701 TEL 089(976)6688